

自然の「音」を感じて

わたしたちの身の回りには、雨の音、川の音、波の音、風の音、葉のゆれる音など、自然の「音」があふれています。自分にとって心地よい音を見つけ、自然の「音」の世界に浸ってみましょう。

「残したい 〴〵日本の音風景100選、」

環境省では、「残したい 〴〵日本の音風景100選、」を選定しています。ホームページでは、〈生き物の音〉、〈自然の音〉など、日本各地の音風景を紹介しています。

このような美しい音を守っていくためにも、私たち一人ひとりが、**持続可能な社会の担い手として**、何ができるのか考えていきたいですね。

<環境省 残したい 〴〵日本の音風景100選>
https://www.env.go.jp/air/life/nihon_no_oto/02_2007oto100sen_Pamphlet.pdf

ひゅーっ



能管(のうかん)

甲高い鋭い音が出ます。メロディーを重視するのではなく、独特の音色と表現で雰囲気をつくり出し、幽霊が出てくる効果音に使われます。

ぱらぱらぱら～



雨うちわ
 雨の擬音を出す。うちわにビーズ等を糸でつるしています。

自然の「音」を愛でる耳



日本に住む人は、自然の音に対して敏感な耳をもっていると言われていす。それは、「枕草子」の「秋は夕暮れ。……日入りはてて、風の音、虫の音など、はたいうべきにあらず。」のくだりでは、「秋は夕暮れが良い。……すっかり日が落ちてから（聞こえてくる）、風の音や虫の鳴く音などは、言うまでもなく（すばらしい）。」と、秋の夜長に聞こえる自然の音を愛でる一文にも表れています。

〴〵岐阜の音風景3選、

●岐阜市「長良川の鶺鴒」●



『写真提供～岐阜市』

宵闇の中、鶺鴒を励ますために船べりを叩く「ドンドン」という音と鶺鴒匠の「ホウホウ」という掛け声、水面を走る船の音、鶺鴒が動き回る音が一体となって響きます。

●美濃市「うだつの町の水琴窟」●



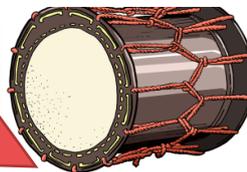
美濃の街並の「旧今井家住宅」の中庭に古くからある水琴窟です。手水鉢から流れ出した水が、地中に埋め込まれたかめの中で反響し、琴の音色に似た美しい音が聞こえます。このようにして生活の中で音を楽しんでいます。

●他にも、郡上市「吉田川の川遊び」が選ばれています。●

歌舞伎における自然の「音」

日本の伝統音楽の一つである「歌舞伎」では、舞台の下手にある黒御簾（くろみす）という小部屋で音楽が演奏されます。その中で、「下座（げざ）音楽」とよばれる効果音楽は、場面の状況に合わせて、雨・雪・風・嵐・波・雷などの自然の音や、動物の鳴き声、幽霊などの出現を、鼓（つづみ）・笛・太鼓などを使って演奏します。

「どん どん」・「ずどん どん」と波が岸に寄せる様子や、強弱で大波小波を表します。



桶胴(おけどう)太鼓
 バチの長さや打ち方を変えて、波、雨、雷、雪などの音を表現します。